

授業科目等の概要

(職業実践専門課程 国際英米学科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Shadowing I	英語のそれぞれの音をきちんと発音し、聞き取る訓練をする。また、正しいイントネーションを身に付けるための演習を行う。	1前	72	3	○	△		○		○		
○			Shadowing II	Shadowing I で身につけたスキルを更に高めるトレーニングをする。正しいイントネーションやストレスを身に付けるための演習を行う。	1中後	56	2	○	△		○		○		
○			Reading / Writing I	多読教材(Graded Readers)の活用により、語彙力・リーディング力の向上を目指す。また、精読を通して長文読解力の向上を目指す。	1前	70	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing II	Reading I から継続し、多読・精読を通して語彙力・リーディング力の向上を目指す。	1中後	56	2	○	△		○		○		
○			Listening / Speaking I	ロールプレイやゲームなど様々な方法を組み合わせて英会話に慣れ親しむことを目的とする。	1前	70	3	○	△		○			○	○
○			Listening / Speaking II	ネイティブとのコミュニケーションをとおして自分の意見や考えを英語で言えることを目的とする。	1中後	56	2	○	△		○			○	○
○			英検・TOEIC I	英検準2級、TOEICリスニングパートの対策を中心に進め、大量の英語に触れながら出題傾向を知ることで得点力向上を目指す。	1前	70	3	○	△		○		○		
○			英検・TOEIC II	文法・語彙項目対策とリーディング対策を中心に、ビジネスにおけるコミュニケーションで必要最低限の知識習得を目的とする。	1中後	56	2	○	△		○		○		
○			英会話実践 I	Grammarで学んだ文法を用いて、オンライン教材で外国人講師とマンツーマンの英会話を実践することで、アウトプットの向上を目指す。	1前	36	1		○		○		△	○	
○			プレゼンテーション	PowerPointを活用して効果的に英語プレゼンテーションを行うための技術・能力を身につけ、リサーチしたテーマに関する英語プレゼンテーションを行う。	1中後	46	1	△	○		○		○		
○			異文化研究	日本と海外の違いについて学び、幅広い視点からの見聞を広めることを目的とする。	1中後	54	2	○	△		○		○		
○			キャリアデザイン I	就職に向けて職業観の育成、コミュニケーションの重要性、行動目標設定、自己表現力を磨き、就職活動への意欲を高める。	1通	64	2	○	△		○		○		
○			アプリケーション演習	ビジネス社会におけるデータ入力技法とワークシート作成、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する基礎的な技能を身に付ける。	1前	72	3	○	○		○		○		
○			秘書概論	サービス接客検定2級や秘書検定2級の取得を目標として、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の利活用などを学ぶ。	1前中	54	2	○	△		○		○		
○			ビジネスマナー	来客対応から電話対応など、社会に出た後に必要とされるビジネスマナー全般を学ぶ。	1前中	54	2	○	△		○		○		
○			日本語表現法演習	相手に伝わる話し方や表現力を身につけ、面接試験や就職後の接客対応に活かす。	1通	64	2	○	△		○			○	
○			TOEIC演習 I	英語コミュニケーション力向上の必要性に鑑み、実践的TOEIC問題集を中心に講義・演習を展開する。主な力点はリスニングとリーディングに置く。	1前	60	2	△	○		○		○		
○			海外語学研修	海外でホームステイをしながら語学学校に通い、オールイングリッシュの環境に身を置くことで英語力を総合的に向上させる。	1後	160	5			○	○		○		○

授業科目等の概要

(職業実践専門課程 国際英米学科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Shadowing III	ビジネス英単語の音をきちんと発音し、聞き取る訓練をする。また、正しいイントネーションを身に付けるための演習を行う。	2前中	82	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing III	リーディング・ライティングを中心に、一般ビジネスの現場で使われるビジネス英語に慣れることを目標とする。	2前	72	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing IV	リーディング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英語力習得を目的とする。	2中	36	1	○	△		○		○		
○			Listening / Speaking III	スピーキング・リスニングを中心に、一般ビジネスの現場で使われるビジネス英語に慣れることを目標とする。	2前	72	3	○	△		○			○	○
○			Listening / Speaking IV	ネイティブとのコミュニケーションをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする。	2中	36	1	○	△		○			○	○
○			英検・TOEIC対策 III	英検2級A、TOEIC600点以上の取得を目標とし、ネイティブスピーカーの考え方や言葉の使い方を考えながら語彙を習得する。	2前中	58	2	○	△		○		○		
○			英会話実践 II	Grammarで学んだ文法を用いて、オンライン教材で外国人講師とマンツーマンの英会話を実践することで、アウトプットの向上を目指す。	2前	24	1		○		○		△	○	
○			English Circle	実践に重点を置きながら、英語で日常会話や慣用表現などについて学ぶことを目的とする。	2前	36	1	△	○		○		○		
○			COURSERA	語学力をさらに高めたい学生に対して、学生たちが自主的に英語で何かを勉強する習慣を身につける。留学希望者に対しては、どの程度の語学力が求められるかを理	2前中	30	1	○	△		○		○		
○			キャリアデザイン II	グループワークやディスカッションを通じて、就職・留学について考え、卒業までに進路を決定させることを目的とする。	2前中	45	1		○		○		○		
○			リテールマーケティング	マーケティングの基本的な考え方や流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解していく。	2前	48	1	○	△		○		○		
○			探究学習	グローバルな視点から自分の興味のある分野に対してどのような考えを持ち行動したら良いのか、グループワークを中心に実践教育も行う。	2前	58	2	○	△		○		○		
○			ディスカッション	実践に重点を置きながら、英語でディスカッションする際に必要なテクニックや表現などについて学ぶことを目的とする。	2前中	30	1	△	○		○		○		
○			卒業論文	特定のトピックについて深く調べ、理解し、英語で論文を書くあげる練習を行う。	2前中	102	3	△	○		○		○		
○			TOEIC演習 II	実践的TOEIC問題。集を中心に講義・演習を展開する集中講義。主な力点はリーディングに置き、TOEIC730点以上を目指す	2前後	80	3	△	○		○		○		
合計				36 科目		1,979					単位時間	69	単位		

卒業要件及び履修方法	授業期間等
<p>◇履修科目の成績評価</p> <p>(1) 成績評価は履修科目ごとに、評価する。</p> <p>(2) 成績評価は、単位認定テスト、確認テスト、出席率、授業態度、その他課題等によってなされる。</p> <p>(3) 評価・・・成績評価は、A・B・C・D・Eの5段階とする。</p> <p>(4) 評価基準</p> <p>A：科目の理解度と授業態度の極めて優秀な者（100～85点）</p> <p>B：科目の理解度と授業態度の優秀な者（84～70点）</p> <p>C：科目の理解度と授業態度の良好な者（69～50点）</p> <p>D：科目の理解度と授業態度がやや劣る者（49～30点）</p> <p>E：科目に対する理解及び日常の授業態度が著しく劣る者（29～0）</p> <p>(5) 評価内容（100点満点として）</p> <p>①試験 70点 ②出席 20点 ③授業態度 10点</p> <p>・試験点については、筆記、実技試験、レポート、製作物等の評価点数に70%乗ずる。</p> <p>・授業態度については、各担当の講師の評価とする。</p>	<p>1学年の学期区分</p> <p>前期 中期 後期</p>

### 授業科目等の概要

(職業実践専門課程 国際英米学科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
(6)成績評価表 前期、中期、後期の評価表を作成する。 (7)単位認定試験 ・原則として、全科目、単位認定試験を実施する。 ◇卒業条件 (1)履修時間 本校在籍期間中に1700時間以上を履修しなければならない。 (2)卒業単位の取得 本校在籍期間中に62単位以上を取得しなければならない。 (3)卒業基準検定の取得 卒業年次の2月末日までに基準検定を取得しなければならない。 (4)卒業論文の提出 原則として学校指定の形式で4000文字以上を作成し提出。								1学期の授業期間			20週				

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。